

ミウラの安心を
カタチにする

ZMP
スペシャル
ライト®



安心1
点検

- ① 法規で定められた「定期自主検査」の代行
- ② 予防保全のための保守点検
- ③ ボイラ状態を点検結果報告書でご報告

安心2
保証

- ① ボイラ本体・エコノマイザも含めた保証
 - ② 部品代、修理代、出向料は基本的に不要
- ※詳しくは弊社担当者へお問い合わせください。

安心3
維持

- ① 安全装置の点検
- ② 性能・機能の維持、管理
- ③ 水質分析、データ監視を行い、本体その他の寿命を延長

省人化 1

水質分析&データ監視で
安心な水質管理!



缶水のサンプリングによる水質分析&データ監視で最適な水質管理をアドバイスします。

省人化 2

水処理業務は全て
ミウラで手間低減!



軟水装置の再生塩・ボイラ薬品を補充します。

省人化 3

ZIS通信+カラーメトリ+高濃縮ブローバルブで
軟水チェック・ブロー操作が不要!



ボイラ状況を的確に把握。お客様をブロー操作・軟水チェックから解放します。

■ 小型・簡易ボイラをご使用いただくに当たり、事業主様の責務として、法令を遵守した届出、設置、施工、使用の義務がございます。■ 設置、施工に当たっては、関係法令を遵守すると共に、本装置の据付施工要領書に従い正しく施工してください。■ 関係法令は、消防法(火災予防条例を含む)、大気汚染防止法、労働安全衛生法、建築基準法、水質汚濁防止法、河川法、下水道法、公害防止条例、水道法、液化石油ガス法等がございます。また、他にも各都道府県・市の条例等がございますので、所轄の監督官庁へご確認ください。■ ボイラブロー水には、高アルカリ、高温水、スラッジが含まれておりますので、必ず適切な排水処理を行ってください。

設置手続き事例

■ 労働基準監督署

小型ボイラー設置報告書
事業主は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、ボイラー及び压力容器安全規則により、「小型ボイラー設置報告書」を所轄の労働基準監督署長宛に提出する事。

■ 消防署関係

危険物に関する届出
危険物を貯蔵または取り扱う施設は、その数量により規制を受けるため所轄の消防署へ必要な届出を行う事。

ボイラー設置届

ボイラーを設置する場合、「火を使用する設備等設置届出書」を所轄の消防署へ提出する事。

■ ばい煙発生施設

大気汚染防止法または地方条例により、ばい煙発生施設または特定施設に指定されている施設は、「ばい煙発生施設届出書」または「特定施設設置届出書」を都道府県または所轄の保健所、市等へ提出する事。

■ 騒音規制法

定格出力7.5kW以上の送風機を搭載している製品を指定地域に設置する場合、工事着工30日前までに所轄の市町村の公害担当窓口を通じて都道府県知事に届出を行う事。但し、都道府県により規制の内容が異なるのでご注意ください。

警告

- ・ 煙突(排気筒)は、排ガスによる人体やまわりの環境に有害な影響が出ないように正しく施工を行ってください。
- ・ ボイラを安全に設置・ご使用いただくために、上記法令(条例)等を確認し、遵守のうえご使用ください。設置方法を誤りますと火災・一酸化炭素中毒等により、人物に重大な影響を与える恐れがあります。
- ・ 弊社に相談なく改造や修理を行うことは、安全に関して重大な影響を及ぼすおそれがあります。決して勝手な改造や修理は行わないでください。また、ボイラの移動・転売・再使用の際には、弊社にご連絡ください。

安全に関するご注意

- ・ 商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。
- ・ より安全にご利用いただくために、感震器をお取り付けください。

◎ 輸出に関するご注意：本カタログ製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により、輸出規制品に該当する場合は、輸出する際に日本国政府の輸出許可が必要です。輸出される場合には、弊社営業担当にお問い合わせください。

◎ カラーメトリ、ZMPスペシャルライトは三浦工業(株)の登録商標です。

三浦工業株式会社

愛媛県松山市堀江町7番地 〒799-2696
TEL 089-979-7000
FAX 089-978-2321
https://www.miuraz.co.jp

プライム市場 証券コード 6005

ISO 9001

ボイラ/水処理システム、オンラインによるメンテナンスサービスの品質保証体制

ISO 14001

福江・北条地区の三浦工業およびミウラグループ会社が環境マネジメントシステム登録事業所です

製品改良のため、予告なく変更する場合があります。本カタログの内容は日本国内仕様です。本カタログに関するお問い合わせは最寄りの販売店・営業所へどうぞ。

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

小型貫流蒸気ボイラ

SI 油 A重油 油 灯油
1500・2000



より良い製品を、より良い環境のために



MiURA

印刷日'25年7月 PA031-03 ME (BU)
本カタログの無断転載を禁止します。

信頼と実績のSIシリーズ

低煤塵・低空気比・低NOxの環境配慮型

低煤塵・低空気比・低NOxにより環境にやさしい。

低煤塵、低スモーク度のバーナで、省エネ法に準拠した低空気比(m≤1.3)での燃焼(排ガスO₂=4.8%)が可能です。さらに、窒素酸化物の排出量を抑えた低NOx対応型も取り揃えております。

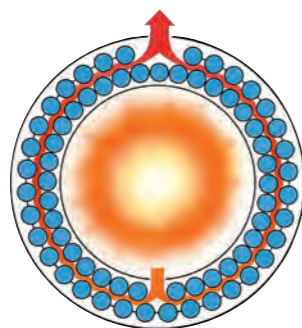
空気比 **1.3** 以下

高効率のエネルギー化で地球温暖化防止

特殊ヒレ缶体により缶体効率を90%まで向上。(缶体のみ)

ωフロー缶体をさらにつくつめ、缶体効率を90%まで高めるとともに、スリムにできました。

燃焼ガスの流れ ω フロー



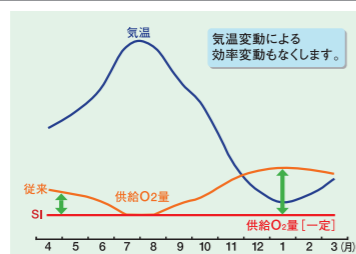
ボイラ効率 **90%**

(O₂=3%を基準にした値)

インバータ制御で省電力&高効率 SI-1500VH・2000VH高機能仕様

適正なO₂燃焼制御で高効率&クリーン

夏、冬で気温が変化し、給気温度が変化しても、搭載したインバータによって回転数を補正し、適正なO₂量を維持します。これにより安定した燃焼状態を確保し、高効率とクリーンな排ガスを保ちます。



インバータ装備で省電力

インバータを装備し、快適な職場環境を創造する。

ボイラの燃焼状態に応じて送風機モータの回転速度を調節。消費電力の低減とボイラ低燃焼時の騒音も、回転速度が減少することで低く抑えることができ、快適な環境を創り出します。

消費電力 **約1/2**

(当社比、低燃焼時)【高機能仕様】

基本仕様

要目	単位	SI-1500VH		SI-2000VH	
		灯油	A重油	灯油	A重油
ボイラ種類	—	小型ボイラ(多管式貫流ボイラ)			
取扱者資格	—	事業主による「特別教育」受講者以上			
最高圧力	MPa	0.98			
使用圧力範囲	MPa	0.49~0.88			
相当蒸発量	kg/h	1,500		2,000	
実際蒸発量	kg/h	1,258		1,677	
熱出力	kW	940		1,254	
伝熱面積	m ²	9.90			
ボイラ効率	%	90			
保有水量	L	138			
燃料消費量	L/h	108.1	102.5	144.1	136.7
	kg/h	86.4	88.1	115.2	117.5
使用電源	kW	1,045			
	—	AC 200V 50/60Hz 3相			
電源引込線太さ	mm ²	14		22	
	—	75		125	
電源遮断器定格電流	標準	—		100	
	インバータ	—		—	
設備電力	kW	9.0		11.75	
	—	—		—	
総電気容量50Hz/60Hz	標準	12.5/11.8		15.8/15.2	
	インバータ	12.5/12.3		15.8/15.7	
送風機	kW	6.0		8.0	
給水ポンプ	kW	2.5		2.8	
オイルポンプ	kW	0.3		0.75	
製品質量	kg	2,040		2,050	
型式/着火方式	—	強制押込通風油圧力噴霧方式/高圧電気スパーク方式			
	—	三位制御方式/紫外線光電管			

熱出力、燃料消費量、設備電力は公益財団法人日本小型貫流ボイラー協会「小型貫流ボイラー性能表示ガイドライン」(2017年3月21日版)による。

公益財団法人日本小型貫流ボイラー協会「ボイラ性能表示基準値」

■燃料の発熱量は、下記数値を使用する。

燃料種	低発熱量	密度
灯油	43.5MJ/kg	0.80g/cm ³
A重油	42.7MJ/kg	0.86g/cm ³

■ボイラ効率の算出条件

運転圧力	0.49MPa	給水温度	15℃
熱勘定方式	JIS B 8222	給気温度	35℃

※ボイラ効率の誤差±1%、燃料消費量の誤差±3.5%

■実際蒸発量は、給水温度15℃、蒸気圧力0.49MPaを基準とする。

■仕様一覧

品名	仕様	SI-1500VH		SI-2000VH	
		標準仕様	高機能仕様	標準仕様	高機能仕様
給水ポンプ	標準水	○	○	○	○
	高温水	○	○	○	○
	無	○	○	○	○
ケーシング	左右有	○	○	○	○
	左有	○	○	○	○
	右有	○	○	○	○
給水流量計	無	○	○	○	○
	有	○	○	○	○
油流量計	無	○	○	○	○
	有	○	○	○	○
高濃縮ブローバルブ2	無	○	○	○	○
	有	○	○	○	○
インバータ	無	○	○	○	○
	有	○	○	○	○

注1 給水温度85℃以上の場合は、高温仕様となります。(SI-1500VHのみ)

注2 使用圧力範囲を超えると安全弁より蒸気漏れや吹き出しが発生するおそれがあります。

ボイラの蒸気圧力設定が使用圧力範囲を超える場合は、別途お問い合わせください。

注3 A重油をご使用の場合はJIS1種1号を推奨します。

燃料中の硫黄分と結露水により排気筒内面が腐食します。また腐食物の飛散により屋根、建屋、その他周囲のものを腐食させたり汚したりすることがあります。よって、硫黄分の低いJIS1種1号を推奨します。

注4 使用圧力範囲未満の蒸気が必要な場合は、減圧弁等の設置が必要です。

SI-1500VH・2000VH 標準寸法図

